

事業方針

少子高齢化の急激な進展のもと、人口減少社会の到来など社会構造の根本的な変化やかつて経験したことのない縮小社会の到来等、色々な課題に直面している。

国においては、政権交代が進み、時代は正に大きな転換期を迎えている。

とりわけ急激な少子高齢化に伴い、次世代育成支援の強力な推進や健康づくり・介護予防を重点に据えた取り組み、後期高齢者医療制度、介護保険制度、年金制度の改革など、社会保障と税の一体改革が進められようとしている。

また、「無縁社会」と呼ばれ、人の絆が希薄化したと言われる社会において、いかにして豊かな活力ある長寿社会を実現していくかが新たな課題となってきた。

このような状況の中で、高齢者は、地域社会の構成員として、自主的に健康・生き甲斐作りに努め健康で自立することがこれまで以上に求められている。

私たち老人クラブは、『仲間づくり、健康づくり、生き甲斐づくり』活動に自主的主体的に取り組みながら、他方では、地域の特性を生かして魅力ある地域社会の創造に向けて、行政や他団体と連携して、地域福祉の増進に努めていかなければならない。

具体的活動としては、会員加入促進と指導者研修の充実など『組織・運営体制の確立』、老人福祉大学の開催、健康づくり・介護予防まちづくり事業など『会員の生活を豊かにする活動』、子育て支援をはじめ在宅福祉を支える友愛活動など『地域を豊かにする社会活動』を積極的かつ効果的に推進する。

昨今では人とひととの絆、人と地域との絆の大切さが呼ばれているところであり、会員ひとりひとりが住み慣れた地域で気心の知れた人間関係を築き、自らの幸せと地域社会への貢献を掲げ老人クラブ活動を展開し、各世代をはじめ、地域社会から老人クラブの有用性を認められるよう一層の努力をかさねてまいりたい。

以上のような考え方を基本に、重点目標を定め、諸事業を推進する。